

# やまゆり

学校だより

令和6年月7日  
18号  
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」  
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー  
校内研究重点 「WEBQUを活用し、学級の安定と活性化を図る」

学校教育目標重点 「健やかな身体の育成」・「豊かな心の育成」・「地域連携」

## 体育の授業で「救急救命」を、地域の方々と一緒に学習しました

6月5日の月曜日に「外川先生」が体育科の授業で、校医の松田先生を講師にお迎えし「救急救命」の学習会をしました。この学習会には、講師の松田先生をはじめ、民生委員の松岡会長のご協力で出羽さん、山口さん等の委員さん、他にも通学バスの運転手の諏訪本さんの合計4名の地域の方々が参加して下さいました。

学習内容は、松田先生から「5分以内の救急救命の大切さ」をご講義頂き、3年生が1年生や地域の方々に「救急救命」の実技を見せました。この3年生の実演に対して、松田先生から「1年間で素晴らしい成長です」と評価を頂きました。

実技の練習は、1年・2年・3年生が3人で一組になり、AEDを使用して役割分担を変えて練習しました。初めての1年生には上級生が丁寧に教え、「助けられる命を確実に救うために、全員が真剣」に取り組みました。

学校教育目標の「貢献」を達成するために、地域の方々にもご協力を頂きながら一丸となつての救急救命活動は、生徒の教育にとってもふるさと道志村や地域の方々にとっても価値ある実践をすることができました。ご協力いただきました松田先生、ご参加頂きました方々に感謝致します。

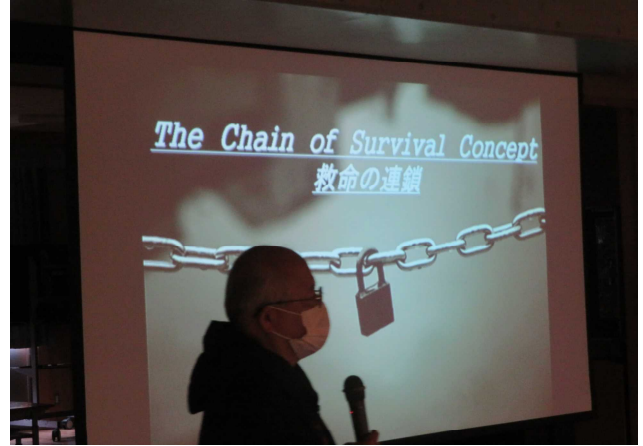
学習会を企画した外川先生 指導して下さいました校医の松田先生 生徒と一緒に学習した方々



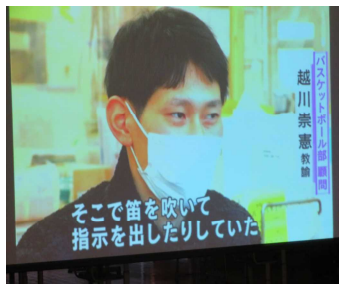
命に関わる学習を真剣に聞く生徒



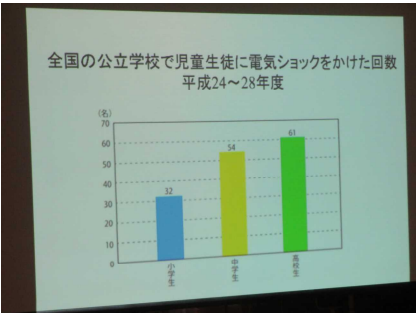
救命の連鎖・一次救命の重要性を説く松田先生



一次救命で命を救われた方 中学校の先生が部活中意識不明 → 一次救命で救った生徒



生徒へのAED使用1年50件以上 昨年度の生徒の救命活動 3年生が修学旅行で救命活動



3年生が1年生や地域の方々に「1次救命の実演」をしている様子 迫真の素晴らしい実演



オンライン学習・宮本先生の指導 救命時には多様な人々との協働が重要・地域の方々と実施





途中で指導や指示を出す外川先生



山口さんと一緒に活動する生徒



地域の方々と一緒に救急救命活動を練習し実演



紫龍さんを中心に活動し出羽さんも参加



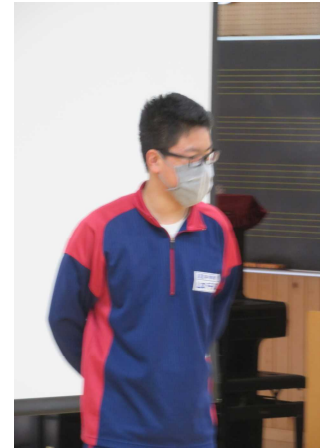
初めての救急救命活動に必死に取り組む1年生の姿に校長も感動しました



千葉教頭・メヒア先生・中山先生等、教職員も生徒と一緒に活動しました



活動の最後に二つの指導 ①胸骨圧迫は一人2分が基本 ②パッドは右胸と「脇側面」に貼る



お礼の言葉 千莉さん 学びを伝え、松田先生  
地域の方の参加にお礼を述べるしっかりした内容

最後に参加者から生徒にお言葉を頂きました



参加して頂いた地域の方々の感想

- 生徒たちが元気が良く素晴らしい。礼儀正しい態度もとても良かった。繰り返して勉強することが大切だと思います。私も、今後もあらゆる機会でも体験したいと思いました。また、学校で地域の人と生徒と一緒に学ぶ機会をつくって下さったことがとても良いことだと思いました。
  - 生徒たちは、大きな声でキビキビと行動できていてとても前向きに取り組んでおり、その姿に感心しました。3年生が見本を見せてくれ、しっかり身につけている姿から、繰り返して積み重ねることが重要だと学びました。
  - 松田先生を迎え、生徒が主体的に「命を守る意識や行動」を高める学習活動を行っていることに感銘を受けました。校長先生及び教職員の方々、本当に貴重な体験をさせていただきありがとうございました。生徒達の人生や世の中に大いに役立つ学習活動だと思います。私自身にもとても役立ちました。今後も継続してください。松田先生には、分かりやすい説明や指導をありがとうございました。
  - 道志中学校の生徒が村内のAEDを使用して救命できることを知り、とても心強く思いました。生徒達の懸命な活動を見て、道志村の未来は明るいと思いました。
- ◎ 松田先生や地域の方々に協力して頂き、社会貢献に生かす学習を実践出来ました。ご指導・ご協力に感謝致します。ありがとうございました。